

癌化学療法約束処方 卵巣28

癌種 卵巣癌(再発)
登録No. 卵28 Bv + Liposomal DXR

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与時間	投与経路	投与日	1コースの期間
ドキシル	ドキソルビシン塩酸塩 リポソーム注射剤	-	40 mg/m ²	2 hr	末梢	DAY 1	28日
アバステン	ベバシツマブ	Bv	15mg/kg	90分→60分→30分	末梢	DAY 1	28日

< DAY 1 > *フィルターなし

- ① 5%TZ 50 ml + デキサート3V / 5分
- ② 5%TZ 50 ml + グラニセトロン1A / 5分
- ③ 5%TZ 50 ml / 5分
- ④ 5%TZ 500 ml + ドキシル mg / 2時間
- ⑤ 5%TZ 50 ml / 5分
- ⑥ NS 50ml / 5分
- ⑦ NS 100 ml + アバステン mg / (1コース目90分、2コース目60分、3コース目以降30分)
- ⑧ NS 50 ml / 5分

< 備考 >

- ① ドキシルはリポソーム封入製剤のためフィルターを使用しない
- ② Infusion reaction発現時は点滴を一度止め医師へ連絡する。
Grade 1 → ドキシル投与速度を500ml/3hrに減速し再開
Grade 2 → 抗ヒスタミン剤、ステロイド剤、NSAIDs等の投与で回復すれば、ドキシルの投与速度を500ml/3hrへ減速し再開。
Grade ≥ 3 → 中止
- ③ 悪心嘔吐、手足症候群、口内炎等へ支持療法薬を投与する
<処方> Rp 1. テカドロン(0.5) 4~8mg 分1~2 朝食後 3日間
Rp 2. プリンペラン(5) 3T 分3 毎食後 7日分
Rp 3. ナウゼリン(10) 3T 分3 毎食後 7日分
Rp 4. ヒルドイドソフト 2本 1日2回 手足
Rp 5. アズノールうがい液 2本 1日数回
- ④ 本レジメンは、**プラチナ耐性再発症例**に用いる。
- ⑤ 総コース数の制限はなし。

【アバステンの休薬・中止基準】

- ①好中球数<1500/mm³, 血小板数<10万/mm³, 発熱38℃以上, Grade3以上の非血液毒性の発現時は中止。
- ②Grade2以上の高血圧(収縮期血圧>150mmHgまたは拡張期血圧>90mmHg): 薬物治療を開始しコントロール可能となるまで休薬。
G4未満の臨床症状を有する高血圧が、1週間以上継続する場合はアバステンを中止。
- ③Grade3の蛋白尿: G2以下(UPC比<3.5)に回復するまで休薬。
尿タンパクによる休薬が2ヶ月を超えた場合はアバステンを中止。